

【2020年度 スコアシートクライテリア】



ALL JAPAN CHEER DANCE CHAMPIONSHIP

2020年8月

一般社団法人日本チアダンス協会

1 部門定義

【Pom部門】

演技全体を通してPomを使用することが求められる。シンクロ性と視覚効果を含み、正確なPomのモーションやダンステクニックの要素が組み込まれているかどうか重要なポイントである。モーションにはシャープさ、クリーンさ、正確さが求められ、チームがシンクロし、“ひとつ”に見えることが大切である。構成にはレベルチェンジ、グループワーク、フォーメーションチェンジなどの視覚効果が重要である。

- 2020年度開催大会よりPom部門全ての編成（年齢）の演技構成を統一します。
- Pom部門Mini・Youth・中学生・高校生編成の演技構成にLine Danceの実施は必須ではありません。

【Hip Hop部門】

実施、スタイル、創造性、ボディアイソレーションやボディコントロールを強調した、ストリートスタイルの動きが取り入れられたルーティンであること。演技全体を通して、動きの一体感や音楽のビートやリズムを伝えることが求められる。ジャンプやジャンプバリエーション、ジャンプコンビネーション、ストールやフロアワークなどを取り入れることでHip Hopならではの効果を加えることができる。

【Jazz部門】

スタイルに見合った動きとコンビネーション、フォーメーションチェンジ、グループワーク、ダンステクニック要素が組み込まれているルーティンであること。演技全体を通して、動きの連続性とチームの均一性が求められる。正しいダンステクニックの実施、身体の伸び（引き上げ）、ボディコントロール、ポールチェンジなどのバレエを基礎としたボディワークは非常に重要である。

【Cheer Dance部門】

Pom、Hip Hop、Jazz、Line Danceの4つのカテゴリーをそれぞれ連続して20秒以上（Line Danceは除く）取り入れて構成をすること。チームとしての正確さや均一性、一体感が重視され、各カテゴリーの特徴を生かした演技が求められる。視覚効果（フォーメーションチェンジ、グループワーク、連続性、立体的な変化）を取り入れた創造性溢れる振付構成であること。

- 2021年度より演技構成上Line Danceカテゴリーを必須とせず、Pom、Hip Hop、Jazzの3つのカテゴリー構成に変更します。

2 スコアシート項目説明

※下線赤字は2020年度特別ルール改正による変更

【Pom部門／Hip Hop部門／Jazz部門 全編成共通】

TECHNICAL EXECUTION テクニックの実施 30点

●Category Style Execution カテゴリー固有のスタイルの実施 10点

Pom：ポンモーションのテクニックの質、位置、コントロール、正確で強い動きの完成度

Hip Hop：グループと本物のヒップホップとしての質、ストリートスタイル

Jazz：動きの連続性とスタイルの質、引き上げ、存在感、身のこなし

●Movement Technique Execution 動きの技術の実施 10点

強さ、迫力、位置、コントロール、存在感のある動き、動きの専念度

●Skill Technique Execution スキルの技術の実施 10点

正確な位置、身体の配置、コントロール、引き上げ、バランス、強さ、動きの完成度を伴う適切なスキルレベルを実施する能力

GROUP EXECUTION グループでの実施 30点

●Synchronization／Timing with Music 同調性／音楽とのタイミング 10点

チームメンバー同士、音楽と動きのタイミングの正確さ

●Uniformity of Movement 動きの均一性 10点

動きが各個人で同じであること、クリア、クリーン、正確さ

●Spacing 位置間隔 10点

競技フロアにおけるルーティン中や移動中の各個人の正確な位置と距離間

CHOREOGRAPHY 振付 30点

●Musicality 音楽性 10点

音楽のアクセント、リズム、テンポ、フレーズ、歌詞、スタイルを活かした創造性、個性的且つ独創性のある動き

●Routine Staging／Visual Effects ルーティンステージング／視覚効果 10点

多様なフォーメーションの活用とスムーズな移動、グループワーク、パートナーワーク、フロアワーク、リフト高低差、対称など視覚的インパクトのあるステージング

●Complexity of Movement 動きの複雑性 10点

テンポ、体重移動、方向転換、接続性、連続性、動きの複雑さ等の動きの難度 正しい技術の実施に基づいたスキルの難度

※2020年度は特別ルール改正によりRoutine Staging／Visual Effects（ルーティンステージング／視覚効果）10点を無くし、CHOREOGRAPHY（振付）の全体の配点を20点とします。

OVERALL EFFECT 全体効果 10点

● **Communication/Projection/Audience Appeal & Appropriateness** コミュニケーション/表現/観客へのアピールと

適正さ 10点

心からのショウマンシップ、観客へのアピールを持ったダイナミックなルーティンを表現する能力、演技を高めるための年齢に適した音楽・衣装・振付

【Cheer Dance部門 全編成共通】

POM 10点

- **Category Style Execution / Movement Technique Execution** カテゴリー固有のスタイルの実施 / 動きの技術の実施
ポンモーションのテクニックの質、位置、コントロール、正確で強い動きの完成度 / 動きの強さ、迫力、位置コントロール、存在感のある動き、動きの専念度
- **Synchronization・Timing with Music / Uniformity of Movement / Spacing** 同調性、音楽とのタイミング / 動きの均一性 / 位置間隔
チームメンバー同士、音楽と動きのタイミングの正確さ / 動きが各個人で同じであること、クリア、クリーン
正確さ / 競技フロアにおけるルーティン中や移動中の各個人の正確な位置と距離間

HIP HOP 10点

- **Category Style Execution / Movement Technique Execution** カテゴリー固有のスタイルの実施 / 動きの技術の実施
グループと本物のヒップホップとしての質、ストリートスタイル / 動きの強さ、迫力、位置、コントロール、存在感のある動き、動きの専念度
- **Synchronization・Timing with Music / Uniformity of Movement / Spacing** 同調性、音楽とのタイミング / 動きの均一性 / 位置間隔
チームメンバー同士、音楽と動きのタイミングの正確さ / 動きが各個人で同じであること、クリア、クリーン
正確さ / 競技フロアにおけるルーティン中の各個人の正確な位置と距離間

JAZZ 10点

- **Category Style Execution / Movement Technique Execution** カテゴリー固有のスタイルの実施 / 動きの技術の実施
動きの連続性とスタイルの質、引き上げ、存在感、身のこなし / 動きの強さ、迫力、位置、コントロール、存在感のある動き、動きの専念度
- **Synchronization・Timing with Music / Uniformity of Movement / Spacing** 同調性、音楽とのタイミング / 動きの均一性 / 位置間隔
チームメンバー同士、音楽と動きのタイミングの正確さ / 動きが各個人で同じであること、クリア、クリーン
正確さ / 競技フロアにおけるルーティン中や移動中の各個人の正確な位置と距離間

LINE DANCE 10点

- **Category Style Execution / Movement Technique Execution** カテゴリー固有のスタイルの実施 / 動きの技術の実施
キックの正確さ / 動きの強さ、迫力、位置、コントロール、存在感のある動き、動きの専念度
- **Synchronization・Timing with Music / Uniformity of Movement / Spacing** 同調性、音楽とのタイミング / 動きの均一性 / 位置間隔
チームメンバー同士、音楽と動きのタイミングの正確さ / 動きが各個人で同じであること、クリア、クリーン
正確さ / 競技フロアにおけるルーティン中や移動中の各個人の正確な位置と距離間

※2020年度は特別ルール改正によりLINE DANCEをKICKとして評価します。

SKILL TECHNIQUE スキルの技術の実施 10点

●Skill Technique Execution スキルの技術の実施

正確な位置、身体の配置、コントロール、引き上げ、バランス、強さ、動きの完成度を伴う適切なスキルレベルを実施する能力

CHOREOGRAPHY 振付 30点

●Musicality 音楽性 10点

音楽のアクセント、リズム、テンポ、フレーズ、歌詞、スタイルを活かした創造性、個性的且つ独創性のある動き

●Routine Staging/Visual Effects ルーティンステージング/視覚効果 10点

多様なフォーメーションの活用とスムーズな移動、グループワーク、パートナーワーク、フロアワーク、リフト高低差、対称など視覚的インパクトのあるステージング

●Complexity of Movement 動きの複雑性 10点

テンポ、体重移動、方向転換、接続性、連続性、動きの複雑さ等の動きの難度 正しい技術の実施に基づいたスキルの難度

※2020年度は特別ルール改正によりRoutine Staging/Visual Effects (ルーティンステージング/視覚効果) 10点を無くし、CHOREOGRAPHY (振付) の全体の配点を20点とします。

SHOWMANSHIPS ショウマンシップ 10点

●Projection・Smiles/Confidence・Audience Appeal/Energy/Eye Contact 表情・笑顔/自信・アピール/情熱/視線

各カテゴリーの振付や音楽に合った表情、心からのショウマンシップ、観客へのアピールを持ったダイナミックなルーティンを表現する能力

OVERALL EFFECT 全体効果 10点

●Overall Effect/Appearance/ Appropriate Costume 演技全体の効果/身だしなみ/年令に見合った衣装

演技全体の効果、適切な衣装の着用方法、身だしなみ、年令に適した衣装